

高校生が就業体験技術実習を行いました

山形河川国道事務所では、山形県立米沢工業高等学校及び創学館高等学校より依頼があり、6月18日から6月20日までの期間で、インターン4名（2年生）を受け入れ、就業体験実習を行いました。

1. 就業体験の目的

高校生に国土交通省山形河川国道事務所の実務を体験してもらうことより、職業意識の啓発、キャリア形成の支援に資することとするとともに、国土交通省の事業への理解を深めてもらうことを目的としています。

2. 実習内容

米沢工業高校（2年生：2名）の主なカリキュラム

- ・河川堤防の徒歩点検、堤防除草の体験学習、河川改修事業の学習と実施箇所の見学
- ・ダム管理実習（白川ダム）
- ・道路パトロール（13号及び113号）と補修体験、除雪機械の体験学習、歩道工事の監督体験
- ・道路改築工事の学習と工事現場における監督体験

創学館高校（2年生：2名）の主なカリキュラム

- ・河川堤防の徒歩点検、堤防除草の体験学習、河川改修事業の学習と監督体験
- ・マイタイムラインの作成、災害対策車の体験学習
- ・道路パトロール（13号及び112号）及び補修体験、除雪機械の体験学習、道路工事の監督体験
- ・電気通信業務の学習と施設見学

高校生が就業体験技術実習を行いました

3. 実施状況（写真上：米沢工業高校、写真下：創学館高校）



国道113号の工事現場での監督体験



最上川の堤防除草体験



白川ダムでのダム管理体験



道路補修体験（国道13号）



貫入棒を使用した河川堤防の点検体験



ドローンによる工事現場撮影体験（大久保遊水地）